

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	DE254/ニュースの社会学4 (Sociology of News 4)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	経済・金融とジャーナリズム		
担当者名 (Instructor)	軽部 謙介(KARUBE KENSUKE)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMS3310	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

経済・金融という現象は何なのか、それは社会に対してどのように作用しているのか、などを検討したうえで、ニュースとして報じていくことの意味や問題点などを考えていきます。

What are the phenomena of economics and finance? How do they impact society? After discussing these, students will think about significances and issues when these phenomena appeared in news reporting.

#### 授業の内容(Course Contents)

経済・金融の基礎をおさえたあと、個別の事例を中心にして、報道との関係について具体的に考えていきます。

After understanding basic concepts about economics and finance, students will study and focus on individual cases and think about specific connections with news reporting.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. 総論(1)=経済・金融とは何かを考えます。その対象範囲や、機能、役割などです。
2. 総論(2)=同上
3. 経済・金融報道とは何か=経済現象を報じるということはどういうことなのか。メディアの存在意義との関係を含めて考えていきます。
4. 経済・金融報道の歴史(1)=日本の戦後の経済史をおさえたうえで、どのように報じられてきたのかを考えます。
5. 経済・金融報道の歴史(2)=特に日本のバブル期の報道について考えます。この時期は経済・金融報道が急拡大した時期でもあります。
6. 経済の主体と報道=民間(一般企業、金融機関など)、財務省、日銀、経産省、国会など、経済・金融に関連する取材対象について考えていきます。
7. 政策発表の仕方=経済・金融に関連する統計の発表や日銀政策決定会合の発表などの例を通じて、報道が直面している問題点などを考えます。
8. 経済・金融ジャーナリズムの国際比較(1)=FT、WSJとはどんな新聞なのか、米国の記者クラブの実態や発表の仕方などを比較検討していくと、日本の報道が抱える問題点が見えてきます。
9. 経済・金融ジャーナリズムの国際比較(2)=同上
10. 経済・金融ジャーナリズムの具体的事例研究(1)=不良債権問題をめぐる朝日・毎日論争、取り付け騒ぎ報道、リフレ政策に関連した報道、通商摩擦におけるメディアの立ち位置などについて、具体的事例について検討します。
11. 経済・金融ジャーナリズムの具体的事例研究(2)=同上
12. 経済・金融ジャーナリズムの具体的事例研究(3)=同上
13. 経済・金融ジャーナリズムの具体的事例研究(4)=同上
14. まとめ=これまでの授業内容をまとめます。

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

経済・金融の基礎知識が要求されますので、授業時間外で準備してください。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(60%)/出席・授業態度・課題提出(40%)

#### テキスト(Textbooks)

特に使用しません。

#### 参考文献(Readings)

参考文献はその都度指示します。

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

紙の新聞は必ず読むようにしてください。その日のニュースについて質問することがあります。

注意事項 (Notice)